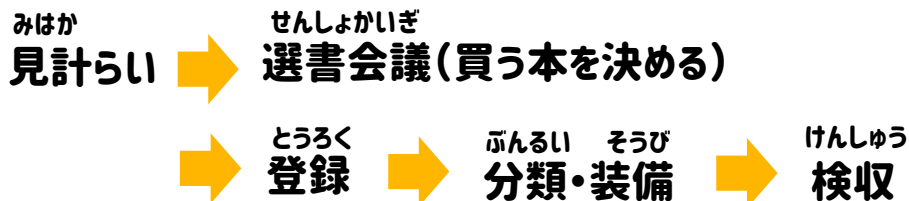




信州しおじり子ども本の寺子屋 目指せ!図書館マスター 第3回

『1冊の本が図書館の本になるまで①』

1冊の本が図書館の本になるまで



予算と選書について



1年にどのくらい本を買うの

参考: 出版指標年表2020年版

去年(2019年)に出版された本

一般書(大人の本) ...

児童書(子どもの本) ...

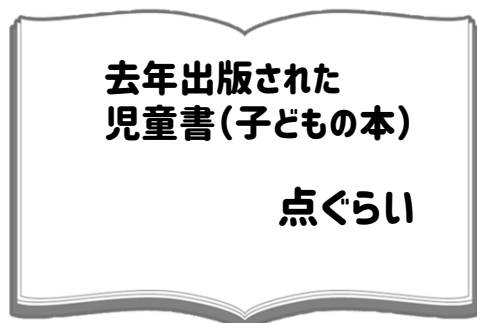
学習参考書...

71,903点

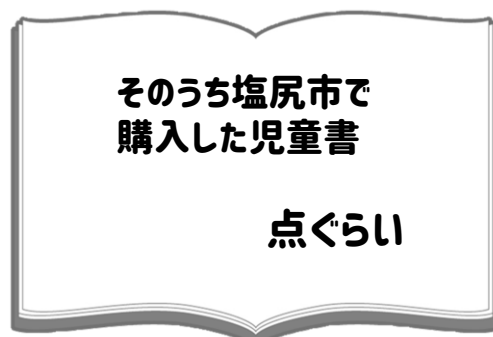
62,215点

4,583点

5,105点



予算



去年よりも前の本を買ったり、買い替えたりしているので
実際に購入してる冊数はもっと多いです。

本の情報を手にいれる方法

1. 本のカタログ(週刊新刊全点案内)を見る
2. 出版社から来る新刊紹介のチラシ
3. 新聞・雑誌などの書評
4. ^{みはか}見計らい(実際の本を見ること)



1冊1冊、実際の本を見る

^{みはか}
見計らい

塩尻市立図書館の児童書は
約80%が「見計らい」で
選書されています。

見計らい・選書のながれ



本屋さんから1週間分の本が届く。



1週間かけて“見計らい”をする。



「見計らい用紙」に評価やコメントを書きます。



評価やコメントをみながら「選書会議」をします。

収集方針と選択基準

しりょうしゅうしゅうほうしん

「資料収集方針」

うちの図書館はこういう図書館をめざしています。
そのためにこういう資料を集めますという方針。

しりょうせんたくきじゆん

「資料選択基準」

資料収集方針をもとにして、細かく、
具体的な選ぶ基準が書かれているもの。

選書する時の注意点とルール

1. 予算がある
2. 本を選ぶ方針や基準がある
3. ひとりの意見ではなく
何人かで考えたり話し合う



「図書館に入れない本
=悪い本」ではない。

それぞれの図書館の
方針や基準合わせて、
どの本が必要か、必要ないか
予算のなかでどの本を
選ぶかを判断しています。

「みなさんが選書した本は図書館の本になる」

今回、みなさんが選んだ本は、実際に図書館の予算で購入し、
図書館の蔵書として棚に並べます。何十年もずっと図書館に残ります。

見計らいをしよう!



予算：10,000円



今回の選書基準

1. 小学校5・6年生または中学生が調べやすい本
2. クラスメイトにおすすめしたい本
3. 塩尻市立図書館に必要だと思う本

選書会議のやりかた

1. 1冊ずつ「選ぶ」「選ばない」を考える。
2. 意見が分かれたら、話し合う。
3. 予算のなかで、どの本を選ぶか決める。

次回の目指せ！図書館マスター第4回目は、

9月5日（土） 「1冊の本が図書館の本になるまで②」（実習）

時間：10：00～12：00 ★会場：多目的ホール

★持ち物：ハンカチ（なるべくツルツルした生地が望ましい）

用語解説

- 予 算（よさん）：あらかじめ定められた金額
- 出 版（しゅっぱん）
：図書、新聞、雑誌などを印刷して世の中に出すこと
- 児童書（じどうしょ）：赤ちゃんから中学生にむけて作られた本
- 一般書（いっぱんしょ）：児童書以外の本
- 現 物（げんぶつ）：じっさいのもの（本）
- 新 刊（しんかん）：新しく出版されること
- 書 評（しょひょう）
：本の内容や書いた人の情報から、
その本がどういう本か評価をして文章にしたもの
- 選 書（せんしょ）：本をえらぶこと
- 見計らい（みはからい）：現物をみて、選書をする事
- 選書会議（せんしょかいぎ）
：一人一人の見計らいをもとに、複数人で集まって
図書館に入れるか入れないかの判断をおこなう会議のこと
- 資料収集方針（しりょうしゅうしゅうほうしん）
：収集する資料についての基本的な考えを文章にしたもの
「うちの図書館ではこういう図書館を目指しているので、
こんな資料を置きますよ」ということが書かれている
- 資料選択基準（しりょうせんたくきじゅん）
：資料収集方針をもとにして、どんな基準で本を選ぶのかを
細かく決めている
- 検収（けんしゅう）
：図書館で入れる本の状態がおかしくないかや、登録された
本の内容が、実際のものとは間違っていないか調べる事